

Title	雑誌記事等
Sub Title	
Author	
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1998
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.43 (1998.) ,p.73- 76
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000043-0074

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

- 吉山友二. 薬物療法における時間薬理学的アプローチ. *Organ Biology* 5, 11-24 1998
- 吉山友二. 時間治療へ向けて. *ファルマシア* 34, 573-578 1998
- 吉山友二. 時間薬理と治療. *臨床医薬* 14, 1533-1537 1998
- 柴崎敏昭. 薬剤師による薬物療法. *管理基準生命とくすり* 14 巻 5 号, p5 1998. 9
- 柴崎敏昭. 薬物性腎障害. *臨床検査* 42 巻 10 号, 1135-1139 1998. 10
- 川島紘一郎. リンパ球におけるコリン作動性メカニズム. *BRAIN MEDICAL* 11, 34-42 1999
- 川島紘一郎. リンパ球のアセチルコリン受容体. *CLINICAL NEUROSCIENCE* 16, 1451 1998
- 飯笹 久, 松島綱治. ケモカインと炎症免疫反応. *炎症と免疫* 6, 310-317 1998. 5
- 飯笹 久. ケモカインノックアウトマウス—炎症・造血・発生とケモカイン—. *組織培養工学* 24, 466-469 1998

雑誌記事等

- Inami K, Okochi E, Mochizuki M. Chemical models for cytochrome P450 as an alternative of metabolic activation system in mutation assay of environmental carcinogens. *Researches Related to the UNESCO's Man and the Biosphere Programme in Japan 1998-1999*, 65-68 1999
- 横山祥子. キチン・キトサンに関する特許動向. *材料技術* 16, 288 1998. 9
- 笠原 忠. 研究室レポート「サイトカインの産生とその遺伝子発現の機構を解明する」. *新宿セミナー PROGRESS* 7 : 38-39 1998
- 沢田純一, 笠原 忠. 神経系機能分子の同定技術及び生理機能の解析技術の開発 ヒューマンサイエンス基礎研究事業, 官民共同プロジェクト研究報告, p282-288 1998
- 笠原 忠. 研究戦略「ケモカイン産生制御機構を追究」. *薬事日報* 9086 号 1999. 1
- 江原吉博. ミュージカル・ショーとして満点. お話に物足りなさ, *げきじょう* No. 49, p85 1998. 4
- 江原吉博. 座談: パパたちのホンネ. *げきじょう* No. 50, p85-89 1998. 7
- 江原吉博. 東京芸術座「ブラボー! ファーブル先生」. *げきじょう* No. 50, p90 1998. 7

- 江原吉博. 現代の家族を取りまく問題. 演劇集団円『インナーチャイルド』, げきじょう No. 51, p84 1998. 10
- 江原吉博. 素顔もまた格別なチェーホフ. コメディアン 4月1日 1998. 4
- 江原吉博. 新たな親子関係の模索. コメディアン 6月1日 1998. 6
- 江原吉博. 劇団制とプロデュース公演の功罪. テアトロ No. 668 (5月号), p34-37 1998. 5
- 江原吉博. 主題追求の不徹底. テアトロ No. 670 (7月号), p42-44 1998. 7
- 江原吉博. あるべき喜劇を求めて. テアトロ No. 672 (9月号), p25-27 1998. 9
- 江原吉博. 久々の喜劇の傑作. テアトロ No. 673 (10月号), p64-66 1998. 10
- 江原吉博. エネルギッシュで猥雑で. テアトロ No. 674 (11月号), p58-60 1998.11
- 江原吉博. 復讐劇の精神性. ドイツの劇を中心に, テアトロ No. 675 (12月号), p32-34 1998. 12
- 江原吉博. 1998年の日本演劇界. テアトロ No. 677 (1月号), p5-39 1999. 1
- 江原吉博. やはり芝居はせりふだ. テアトロ No. 678 (2月号), p71-72 1999. 2
- 江原吉博. 竹中直人の会「水の戯れ」. テアトロ No.679 (3月号), p40-41 1999. 3
- 江原吉博. せりふだけでは説得力は生まれない テアトロ No. 679 (3月号), p84-85 1999. 3
- 江原吉博. 平和な家庭という幻想. テアトロ No. 680 (4月号), p60-61 1999. 4
- 江原吉博. 岡部耕大の文体, あるいはむず痒いような艶めかしさ. 岡部企画プロデュース公演 18「女傑」パンフレット p8-9 1998. 11
- 江原吉博. 演劇の流れ. 岡部企画プロデュース公演 19「お狭」. パンフレット p9-13 1999. 3
- 江原吉博. 娯楽性豊かな社会派戯曲. 図書新聞 12月19日 1998. 12
- 江原吉博. 演劇集団キャラメルボックス「俺たちは志士じゃない」. 東京新聞 4月1日 1998. 4
- 江原吉博. THE・ガジラ「貪りと瞋りと愚かさ」と. 東京新聞 4月15日 1998. 4
- 江原吉博. NODA・MAP「ローリング・ストーン」. 東京新聞 4月22日 1998. 4
- 江原吉博. 新国立劇場「虹を渡る女」. 東京新聞 5月14日 1998. 5

- 江原吉博. T・P・T 「娘に祈りを」. 東京新聞 5月20日 1998, 5
- 江原吉博. シアターコクーン 「ワーニャ伯父さん」. 東京新聞 5月25日 1998. 5
- 江原吉博. 銀座セゾン劇場 「ポップコーン」. 東京新聞 6月4日 1998. 6
- 江原吉博. パルコ劇場 「笑いの大学」. 東京新聞 6月15日 1998. 6
- 江原吉博. 地人会 「デュエットのあとに」. 東京新聞 6月24日 1998. 6
- 江原吉博. 加藤健一事務所 「トーチソング・トリロジー」. 東京新聞 7月1日 1998. 7
- 江原吉博. 俳優座 「黄金色の夕暮」. 東京新聞 7月15日 1998. 7
- 江原吉博. 銀座セゾン劇場 「ミハイル・バリシニコフ & 板東玉三郎」. 東京新聞 8月19日 1998. 8
- 江原吉博. 劇団民芸 『るつぽ』. 東京新聞 9月28日 1998. 9
- 江原吉博. 共同コーポレーション 「デッド・ギルティ」. 東京新聞 9月30日 1998. 9
- 江原吉博. 二兎社 「時の物置」. 東京新聞 10月 1998. 10
- 江原吉博. 加藤健一事務所 「千人のピエロ」. 東京新聞 11月4日 1998. 11
- 江原吉博. 新国立劇場 「ディア・ライアー」. 東京新聞 11月16日 1998. 11
- 江原吉博. 銀座セゾン劇場 「リボンの騎士」. 東京新聞 12月2日 1998. 12
- 江原吉博. 竹中直人の会 「水の戯れ」. 東京新聞 12月16日 1998. 12
- 江原吉博. 新国立劇場 「新・雨月物語」. 東京新聞 1月20日 1999. 1
- 江原吉博. パルコ+オフィス・トゥ・ワン 「第2章」. 東京新聞 2月17日 1999.2
- 江原吉博. T・P・T 「愛の勝利」. 東京新聞 2月24日 1999. 2
- 江原吉博. 世田谷パブリックシアター 「ガリレオの生涯」. 東京新聞 3月15日 1999. 3
- 江原吉博. パルコ劇場 「温水夫妻」. 東京新聞 3月31日 1999. 3
- 坂井尚子, 福島紀子, 松本佳代子. 女子薬剤師における就業パターンの動向について—医師・歯科医師・薬剤師調査に基づく分析—. 社会薬学 16, 56, 1997. 12 1997. 12

松本佳代子, 福島紀子, 西野入千香, 影山恭子. バイアグラに見る医薬品情報のあり方. 第119年会講演ハイライト p55 1999. 3

菅家甫子. これからの薬剤師として研修すべきこと/教育現場の立場から. MEDICAL PHARMACY 32, 19-21 1998. 9

菅家甫子. 医療チームの一員としての薬剤師のあり方. Pharm D, ミクス創刊号, 35 1998. 9

菅家甫子. 病院実習の課題と今後. 月刊薬事・薬業時報社 40, 25-27 1998. 5

飯笹 久, 緒方正史. ケモカイン研究に関する情報 細胞工学 17, 1020-1021 1998. 7

福島紀子. 社会薬学 12th Seminar 薬害について. 化学と薬学の教室 129, 84-87 1998

福島紀子. 社会薬学 13th Seminar 情報について. 化学と薬学の教室 130, 92-95 1998

福島紀子. 社会薬学 14th Seminar 医薬品の広告. 化学と薬学の教室 131, 83-86 1998

福島紀子. 社会薬学 15th Seminar 医薬品の価格. 化学と薬学の教室 132, 87-91 1998

中島恵美. 薬学の人との和生命とくすり. 14, 1 1998. 5

古瀬 裕, 旭満里子, 市村藤雄, 中島恵美, 紺井一郎, 川野允弘. 全身性エリテマトーデス (SLE) と SLE 治療薬. 月刊薬事 40, 161-192 1998

中島恵美. 遺伝子治療と薬物の相互作用. 医学の歩み 185, 144-145 1998. 4